

森明 幼ら キリスト教傳道家。明治二十一年五月十一日東京麹町區永田町生れ、大正十四年三月六日歿（八八―一九三五）。森有禮ありのりの三男。學習院初等科に入るを病のため家にて獨學。長じて正則英語學校、明治大學の學ぶと（二二カ月の聽講にて已み、爾後學校教育の機會を有らなかつた。のち青山學院のナランク・ミュラーに就き英語を學び、またその感化で明治二十七年植村正久から受洗。爾來キリスト教傳道に従事、大正八年帝國大學學生基督教共助會を組織した。森有正の父。

譯書にジエー、エツチ、ブルークス著「苦痛の秘義」（大正四年三月十日日本基督教興文協會）があり、東京教に關する科學及哲學（大正十一年一月五日警醒社書店）を著した。歿後「森明選集」（昭和七年十二月二十一日帝國大學々生基督教共助會編輯、長崎書店發賣）、
「森明山選集」（帝國大學學生基督教共助會編、昭和十四年五月二十日弘文堂書房「共助叢書」）刊行。松村克己著「森明と日本の神學」（昭和十五年九月二十五日帝國大學學生基督教共助會、弘文堂書房發賣）がある。

